

丸子公民館だより

今年も、全26自治会で人権教育懇談会を実施しました。本年度は、自治会の役員が変わる時でしたが、役員の皆さん、参加者の人数を増やし地域の皆さんの学ぼうとする気持ちに応えようと努力してくださいました。

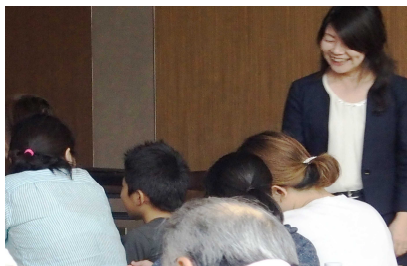
自治会内の学校PTA役員会や高齢者クラブなどと連携し、子どもから大人までの広い世代が参加した自治会も多くありました。さらに次年度は、懇談の内容によって参加者を絞り、自治会内の関係団体や個人に対しての呼びかけを一層工夫したいという課題を見出している自治会もあります。

懇談会終了後、丸子地域教育事務所より懇談会に参加されました皆さんの感想や講師への礼状を自治会の役員さんに送付し、懇談会の反省や今後の自治会の運営に生かしてもらいました。毎年、1回ごとの懇談会の学びをつなぎ、かけがえのない個人として尊重される基本的人権について今後もさらに学び続けていくことが人権教育の基盤です。自治会の皆さんの学ぼうとする気持ちを皆で大事に育て続けていきましょう。

いくつかの自治会の様子を紹介します。



講師の滝沢博文氏の腹話術を親子で見て、笑いの大切さを学ぶ。共に幸せで在ることを願う気持ちが生じてきます。



講師の矢澤智都枝氏が、親子の話し合いに加わる。ネットのこわさを事例から学び、親子で生かそうとしています。



講師の依田真澄氏の参加型の体験。言葉を使わずに相手の思いをくみとる。障がいや共生社会の理解を深めました。

第46回ふれあい・人権の集い2018を開催しました

人権作文発表



丸子北小3年 碓氷 沙羅さん 『ちょっとのゆう気』
丸子中2年 愛場 菜央さん 『十四色の「クレヨン」』
依田窪南部中3年 小林 未奈さん
『部落差別から学んだこと』
丸子修学館1年 辰野 宙美さん
『自分分析から見てきた自分自身』

手話ダンスと演奏



手話ダンスクラブ“ほほえみ”・上田東高校吹奏楽班

12月6日(木) 丸子文化会館を会場に「第46回ふれあい・人権の集い 2018」が開催されました。日本手話ダンスクラブ“ほほえみ”の皆さんと、上田東高校の吹奏楽班による手話ダンスと演奏のコラボや、丸子・武石地域の小中高校生による人権作文の発表がありました。『児童、学生の皆さんが人権問題に対して真剣に考えていることに未来を明るく感じました』などの感想をいただきました。

人権講演会では、「心を柔らかくストレッチ～明日がきっと楽しみにになります～」と題して、声優・歌手・劇作家の佐久間レイさんに、歌あり朗読劇あり、笑って泣ける講演会をしていただきました。

『心しなやかに、素敵なお話しありがとうございました。自分のために優しい言葉を使います』『強く固くなっていた心に気付かされました。自分から変わっていかうと思いました』など、心のストレッチになったとの感想を多くいただきました。

講演会



佐久間レイさん